

アフターコロナ前の中間報告

JSC 貿易部ニュース 中国編

新型コロナウイルス感染症が流行しだして、既に4ヶ月が過ぎました。国内でも5月半ばから徐々に緊急事態宣言も解除されはじめ、表面上は収束に向かっているという形で社会は動き出しました。しかし、第二波・第三波が来るかも？とも言われており、未だ警戒は緩められない感じが続きそうです。

さて、ここ数ヶ月の日中墓石業界を振り返りますと、2月・3月は中国が春節休みから、そのまま新型コロナウイルス対策でロックダウン状態となり、人も工場も動けない状態が1ヶ月近く続きました。日本の春彼岸に合わせて発注してあった商品を間に合わせるために、工場再開に向けた交渉や職人確保に躍起になって取り組んでもらっていた頃がすでに懐かしいです。

3月の半ばから4月は、中国の各工場は工員が揃わない中、受注済みの商品を生産・出荷するのにかなり苦勞して協力をしてくれました。4月後半になると中国の工場の生産体制は平常に戻ったものの、今度は日本からの注文が止まり、開店休業状態の工場も出て来ています。逆に日本は感染症対策で自粛がしっかり浸透し社会活動が大停滞の真っ只中となり、お客様がいない状態。墓石店さんも例年に比べて注文がかなり落ち込んでいます。

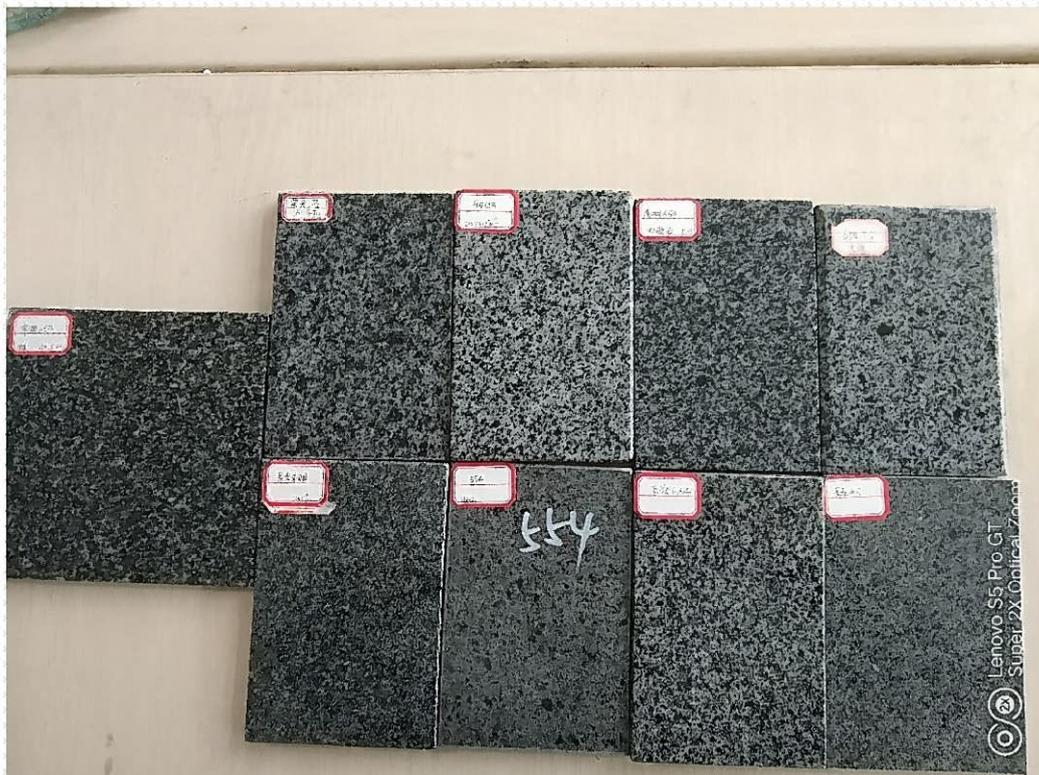
仕方のないことですが、このまま注文がない状態が続くと職人さんも収入が減るのでやめてしまいますし、人手不足によって工場がどんどん閉鎖に追い込まれるということにもなりかねません。そういうことですので、皆様、是非とも注文をお願いします。

現在、インドも新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらず封鎖が継続されています。インド編でもお知らせしましたが、インド産原石の中国への出荷は半年近く止まったままです。私たちも、毎日単位で各工場のインド産原石の在庫量の確認を行い、お客様に納期の面でご迷惑を掛けないよう最善を尽くしておりますが、中には在庫が底をつき始めた石も出てきております。仮にインドが再開したとしても原石の入荷は、2ヶ月後・3ヶ月後の話になります。アーバングレーなどの在庫が大量にある石種は、まだ問題ないと思われ

ますが、普段あまり使われていない石については、発注前に事前確認のお問い合わせを入れていただくなど、ご注意をいただければと存じます。

中国産の原石については、少しずつ動き出して来ました。その中でも、多くの墓石店様が気になるのは、やはり「次の654」ですね！

各工場、試行錯誤しながら開発や試作を進めていますが、なかなか安定した石が見つからず、いまだ絞り込まれていないのが現状です。



上の写真の様に、私たちの手元にも日々多くのサンプルが送られてきますが、現地の社員に確認をさせると、丁場が続かない、キズが多い、黒玉が多い、誤魔化さないと作れない、と問題山積の石がほとんどです。また、一回目に入荷した原石は良かったが、二回目に購入した原石は悪くて使えない、石目が変わっているといったこともしょっちゅうです。

価格も問題で、少し人が群がるとすぐに値上がりしていきます。現状は、多めの原石在庫がある石を、都度石目などを確認しながら進めて行くしかないのかもしれない。

さて、石の話題から少し離れて、「マスク」のお話を。あれだけ不足していた「使い捨てマスク」。最近では日本でも値崩れが始まるくらい感じになってきました。供給が追い付き始めたのか、追い越したのか、少々供給過多な様子ですが、実は中国の福建省にもマスクの工場があり、この期間大量のマスクを世界中に供給していました。

新型コロナウイルス感染症が発生してすぐに、中国全土のマスクメーカーが全て国の管理下に置かれ、軍や医療機関、公共機関、国内備蓄や海外輸出用にと国からの指示でフル生産に入っていました。そんな状態を目の当たりにすると、そこは中国。需要が見込めると分かると、他の業種の会社も参入。15万円以上もする機械を「200台大人買い！」と言った感じに一気に投資して、マスク生産に新規参入する業者も出始めました。結果、マスクの生産量は倍増していき、最終的には「マスクバブル崩壊？」を招いている様です。



中国の税関総署によると、中国から輸出されたマスクは、3月1日から4月4日までの1ヶ月で38億6000万枚、4月5日から30日までの1カ月弱でなんと239億4000万枚に上ったとのこと。

なんと、なんと中国はこの2カ月間に、昨年の世界全体のマスク生産量の2倍に相当する278億万枚を輸出したのです。こんなに生産していたのに、それでも追いつかないほど、世界的にマスクの需要がすごかったということなんですね。

短期間で元が取れたのかどうかはわかりませんが、また需要が落ち着いた後の生産設備（負の遺産？）はどうするのか、など？マークはいっぱいありますが、中国の商魂と資金力は圧巻です。

コロナについては、まだまだ我慢と注意が必要となりそうですが、健康も商売もなんとか乗り切れるように頑張りましょう！

では、今月も最後までお付き合いいただきありがとうございました。